



SHIKKUI
KURUMU-SOTO



従来の漆喰を超える 優れた機能 プロヴェンスな仕上げを可能にする

外装上塗り用漆喰

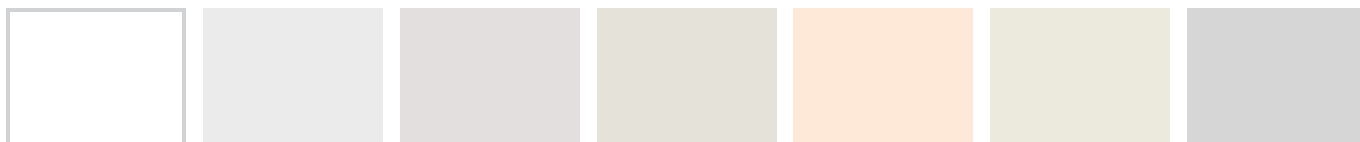
漆喰くるむ[®] 外

SHIKKUI KURUMU-SOTO



Made in Japan

カラーラインナップ



外-白
(N-93)

外-2
(17-90A)

外-3
(17-80A)

外-4
(22-85B)

外-5
(19-90C)

外-6
(29-90B)

外-7
(75-80A)

上記カラーは印刷のため、実際の色調と異なります。採用の際は、色見本帳をご確認ください。

漆喰くるむ 外は自然素材のため、多少の色幅があり、施工下地・仕上げ方により色・表情が多少異なります。カラー名表示下()内の内番号は、日塗工近似色番号です。

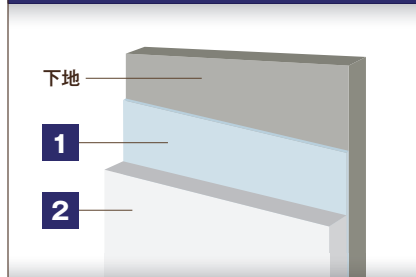
標準仕様							
商品名	適用部位	用途	標準塗り厚	適用下地	荷姿・性状	施工面積	正味
漆喰くるむ 外	外壁 外塀	外装 上塗り用漆喰	約1.5mm	モルタル・コンクリート・アクリル塗料・ウレタン塗料 アクリルリシン・セメントリシン 合成樹脂エマルジョン系仕上げ材・漆喰など	ペースト ⊕ 顔料 [※] (プラスチック缶) (ポトル缶)	約8㎡/缶	ペースト 18kg

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1502024
放散等級区分	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.nsk-web.org/

施工についての詳細は裏面と施工要領書をご確認ください。

※カラー名 外-白に顔料はつきません。

モルタル下地・コンクリート下地



1 シーラー塗布

脆弱部、レイタンス、汚れ等を入念に除去し、下地面全面にNPシーラック3倍液 (NPシーラック1:2清水) を刷毛やローラーで、ムラなく塗布してください。

2 液体顔料練り混ぜ・上塗り

漆喰くるむ 外1缶に対して、所定の液体顔料1本を入れ、ハンドミキサーで3分以上攪拌してください。液体顔料が均一に混ざるように、混ぜながら顔料を入れ、缶の上部から下部まで満遍なく攪拌してください。



カラーボトル内の顔料は、可能な限り使い切ってください。顔料はボトル内に付着することを想定した量が入っています。水と混ぜながらの取り出しは絶対にしてください。

上塗りは、コテ圧をかけて下地に擦り込むように塗り付けた後、水引きのタイミングをみて、仕上げ塗りを行ってください。また、必要に応じて、パターン付けを行ってください。

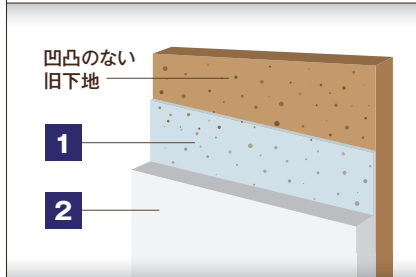
※下ごすりから仕上げ塗りまでの時間は、温度、湿度、風の有無、下地の状態などによって異なります。事前に試し塗りを行ってから施工してください。

3 養生

施工後は強い風や直射日光による塗り付け面の急激な乾燥を防止するため、シート養生等を行ってください。特に、施工後の塗り付け面に強い風が当たる場合は、ひび割れの発生する恐れがあるため、万全の養生を心掛けてください。

最終養生期間 通常期3日以上、冬期5日以上

改修の場合 [下地の凹凸なし]

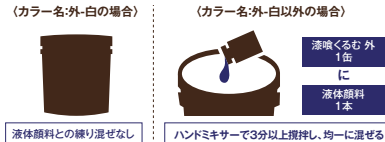


1 シーラー塗布

脆弱部や汚れ等は入念に除去してください。旧塗膜に浮きや剥れがある場合は、必ず除去し、吸水が大きい下地の場合は、NPシーラック3倍液 (NPシーラック1:2清水) を刷毛やローラーで、ムラなく塗布してください。

2 液体顔料練り混ぜ・上塗り

漆喰くるむ 外1缶に対して、所定の液体顔料1本を入れ、ハンドミキサーで3分以上攪拌してください。液体顔料が均一に混ざるように、混ぜながら顔料を入れ、缶の上部から下部まで満遍なく攪拌してください。



カラーボトル内の顔料は、可能な限り使い切ってください。顔料はボトル内に付着することを想定した量が入っています。水と混ぜながらの取り出しは絶対にしてください。

上塗りは、コテ圧をかけて下地に擦り込むように塗り付けた後、水引きのタイミングをみて、仕上げ塗りを行ってください。また、必要に応じて、パターン付けを行ってください。

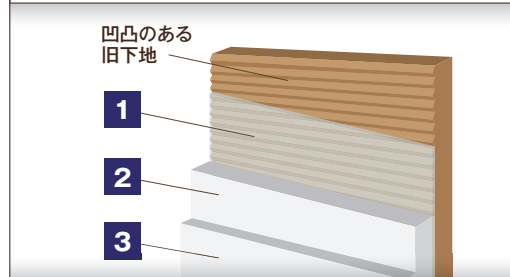
※下ごすりから仕上げ塗りまでの時間は、温度、湿度、風の有無、下地の状態などによって異なります。事前に試し塗りを行ってから施工してください。

3 養生

施工後は強い風や直射日光による塗り付け面の急激な乾燥を防止するため、シート養生等を行ってください。特に、施工後の塗り付け面に強い風が当たる場合は、ひび割れの発生する恐れがあるため、万全の養生を心掛けてください。

最終養生期間 通常期3日以上、冬期5日以上

改修の場合 [下地の凹凸あり]



1 シーラー塗布

脆弱部や汚れ等は入念に除去してください。旧塗膜に浮きや剥れがある場合は、必ず除去し、吸水が大きい下地の場合は、NPシーラック3倍液 (NPシーラック1:2清水) を刷毛やローラーで、ムラなく塗布してください。

2 下塗り

「漆喰くるむ 外1:白竜(寒水石)1厘1:水0.1(目安)」の割合で調合し、ハンドミキサー等で良く練り混ぜてください。練り混ぜた材料を塗り付けて、下地の凹凸を平滑にしてください。

※1回の塗り厚は3mmを上限としてください。それ以上厚く塗り付ける場合は、数回に分けて塗り付けてください。また、塗り重ねる場合は、事前にNPシーラック3倍液を刷毛やローラーでムラなく塗布してください。

上塗り工程までの養生期間 通常期12時間以上 冬期24時間以上

3 液体顔料練り混ぜ・上塗り

漆喰くるむ 外1缶に対して、所定の液体顔料1本を入れ、ハンドミキサーで3分以上攪拌してください。液体顔料が均一に混ざるように、混ぜながら顔料を入れ、缶の上部から下部まで満遍なく攪拌してください。



カラーボトル内の顔料は、可能な限り使い切ってください。顔料はボトル内に付着することを想定した量が入っています。水と混ぜながらの取り出しは絶対にしてください。

上塗りは、コテ圧をかけて下地に擦り込むように塗り付けた後、水引きのタイミングをみて、仕上げ塗りを行ってください。また、必要に応じて、パターン付けを行ってください。

※下ごすりから仕上げ塗りまでの時間は、温度、湿度、風の有無、下地の状態などによって異なります。事前に試し塗りを行ってから施工してください。

4 養生

施工後は強い風や直射日光による塗り付け面の急激な乾燥を防止するため、シート養生等を行ってください。特に、施工後の塗り付け面に強い風が当たる場合は、ひび割れの発生する恐れがあるため、万全の養生を心掛けてください。

最終養生期間 通常期3日以上、冬期5日以上

施工後、強い風を塗り付け面に直接当てると、ひび割れが発生しやすくなるので注意してください。施工の詳細は、漆喰くるむ 外の施工要領書をご確認ください。

JIS A 6909 (建築用仕上塗材)による試験結果

試験項目	単位	漆喰くるむ 外	品質基準 ^{※1}
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	—	ひび割れなし	ひび割れがないこと
付着強さ	N/mm	標準養生	0.5以上
		浸水後	0.3以上
温冷繰り返し	—	ひび割れ、剥がれ及び膨れなし 著しい変色なし	ひび割れ、剥がれ及び膨れがないこと 著しい変色がないこと
耐衝撃性	—	ひび割れ、著しい変形 及び剥がれなし	ひび割れ、著しい変形 及び剥がれがないこと
耐アルカリ性 (A性)	—	ひび割れ、剥がれ、膨れ及び軟化溶出し 浸さない部分に比べて、 著しい膨れ及び変色なし	ひび割れ、剥がれ、膨れ及び 軟化溶出しがないこと 浸さない部分に比べて、 著しい膨れ及び変色がないこと

※1: 外装薄塗材Eを参考

記載の数値は自社での測定値であり、保証値ではありません。

各種下地材に対する付着性

下地の種類	詳細	JIS A 6909 (標準養生)		JIS A 6909 (温冷繰り返し)	
		付着強さ (N/mm)	試験後の状態	付着強さ (N/mm)	試験後の状態
モルタル	旧JIS A 6909 複層仕上材RS適合品	2.2	ひび割れ、剥がれ及び膨れなし	1.9	ひび割れ、剥がれ及び膨れなし
水系アクリル塗料		2.9	ひび割れ、剥がれ及び膨れなし	2.2	ひび割れ、剥がれ及び膨れなし
水系ウレタン塗料		2.8	ひび割れ、剥がれ及び膨れなし	1.8	ひび割れ、剥がれ及び膨れなし
油性塗料		2.6	ひび割れ、剥がれ及び膨れなし	1.1 (油性塗料内部破壊)	ひび割れ、剥がれ及び膨れなし
溶剤系ウレタン塗料		2.5	ひび割れ、剥がれ及び膨れなし	2.6	ひび割れ、剥がれ及び膨れなし
エマルジョン系塗料	JIS A 6909 外装薄塗材E適合品	2.6	ひび割れ、剥がれ及び膨れなし	1.4	ひび割れ、剥がれ及び膨れなし
漆喰	既調合漆喰	0.6 (漆喰内部破壊)	ひび割れ、剥がれ及び膨れなし	0.2 (漆喰内部破壊)	ひび割れ、剥がれ及び膨れなし

施工上の注意

■気温が5℃以下および35℃以上の場合、施工を見合わせてください。■本製品保管の際は凍結厳禁です。一度凍結したものは使用できません。■本製品は既調合品であるため、現場での練り混ぜ及び水を足しての練り戻しは絶対に行わないでください(下地の凹凸を均すための下塗りは除く)。■施工前に必ず試し塗りを行い、パターンの付け方、仕上がり、および、乾燥具合の確認を行ってください。■本製品は自然素材です。塗り方、気象条件、製造ロットなどによっては、若干色差の出る場合があります。■冬期・梅雨期など、気温が低く、湿度が高い条件では白華現象が生じやすいため、シート養生など適切な処置を必ず行ってください。■極端にパターンに凹凸がある場合、また気温・湿度・風などの施工環境によっては、ひび割れが発生する恐れがあるため注意してください。■製造年月日を確認し、製造日から12カ月以上のものは使用しないでください。■材料が余った場合は、表面が空気に触れないように付属のラップフィルムを余った材料の上のせ、容器を密閉して凍結しない冷暗所で保管してください。

お問い合わせは



日本プラスター株式会社

本社・工場 / 〒327-0311 栃木県佐野市多田町188-2
TEL:0283-62-6511(代) FAX:0283-62-8851
東京営業所 / 〒110-0015 東京都台東区東上野3-38-4
TEL:03-3831-3239(代) FAX:03-3835-2048
西日本営業所 / 〒604-8305 京都府京都市中京区市之町170
TEL:075-406-5031(代) FAX:075-406-5032